

1. 履修案内

①一般コース

【コース概要】

「一般コース」とは、岡山大学大学院医歯薬学総合研究科がこれまで実績をあげてきた共通コア科目（研究方法論基礎・応用と課題研究）及び専門科目により研究手法の取得と論文の作成をおこなうコースです。平成20年度からは、さらに学際的な内容に対応できるよう専門科目に「副科目」制を導入し、他の専攻分野の指導を受ける体制を整えています。

(1) 履修計画

履修計画表作成及び授業科目の履修にあたっては、所属する専攻分野の指導教授の指導を受け、指定する期日までに、「履修計画表」（ファイル巻末に綴じ込みの様式）を担当係まで提出してください。

(2) 履修方法

修了するために必要な授業科目の合計単位数は、30単位です。

共通コア科目及び専門科目として、所属する専攻分野の「講義・演習」4単位、「演習・実習」8単位並びに他の専攻分野の「講義・演習」4単位を履修してください。

	単位数	年次ごとの単位修得（例）			
		1	2	3	4
共通コア科目					
研究方法論基礎	5	-----→	5		
研究方法論応用	4	-----→	4		
課題研究	5	-----→		5	
専門科目					
主科目 講義・演習（所属する専攻分野）	4	2	2		
演習・実習（所属する専攻分野）	8	4	4		
副科目1 講義・演習（他の専攻分野）	2	2			
副科目2 講義・演習（他の専攻分野）	2		2		
計	30				

(3) 共通コア科目について

11頁「⑦共通コア科目に関する説明」及びホームページ掲載のシラバスを参照の上履修してください。

(4) 主科目（所属する専攻分野の「講義・演習」「演習・実習」）について

主科目は、所属する専攻分野の「講義・演習」4単位、「演習・実習」8単位を履修する必要があります。授業科目・担当教員等は、15頁「①専門科目一覧」及びホームページ掲載のシラバスを参照の上履修してください。

(5) 副科目（他の専攻分野の「講義・演習」）について

他の専攻分野の「講義・演習」4単位を履修する場合、担当教授の許可を得て「履修計画表」を提出してください。授業科目・担当教員等は、15頁「①専門科目一覧」及びホームページ掲載のシラバスを参照の上履修してください。

(6) 選択プログラムの履修について

本研究科では平成20年度より選択プログラムを開設しました。主科目の「講義・演習」又は副科目の「講義・演習」に充てることが可能です。14頁「⑧選択プログラムに関する説明」及びホームページ掲載のシラバスを参照の上履修してください。

②臨床専門医コース（医学系）

【コース概要】

平成19年度設置の「臨床専門医コース」は、高度な専門的臨床能力の習得及び臨床研究を理解し実践できる能力を取得することを目的としたコースです。全人的な視野を持った患者診療ならびに国際的視野を持った臨床研究の取得も目指し、近年の専門医制度と同調し、専門医資格取得のための準備期間としても役立つコースです。

具体的には、共通コア科目として「疫学」「医療統計学」「臨床研究・疫学実践論」を履修するとともに、専門科目を履修します。副科目として他の専攻分野の指導をうけることや下記の「選択科目プログラム」を履修することにより広範な学際性も身に付けることができます。

このコースには次の専攻分野が参加しています。

眼科学、麻酔・蘇生学、救急医学、精神神経病態学、脳神経内科学、発達神経病態学、脳神経外科学、腎・免疫・内分泌代謝内科学、皮膚科学、腫瘍・胸部外科学、泌尿器病態学、血液・腫瘍・呼吸器内科学、放射線医学、産科・婦人科学、総合内科学、整形外科学、形成再建外科学

(1) 履修計画

履修計画表作成及び授業科目の履修にあたっては、所属する専攻分野の指導教授の指導を受け、指定する期日までに、「履修計画表」（ファイル巻末に綴じ込みの様式）を担当係まで提出してください。

(2) 履修方法

修了するために必要な授業科目の合計単位数は、30単位です。

共通コア科目及び専門科目として、所属する専攻分野の「講義・演習」4単位、「演習・実習」8単位並びに他の専攻分野の「講義・演習」4単位を履修してください。

	単位数	年次ごとの単位修得（例）			
		1	2	3	4
共通コア科目					
研究方法論基礎	3	----->	3		
研究方法論応用 (疫学・医療統計学・臨床研究疫学実践論)	6	----->	6		
課題研究	5	----->		5	
専門科目					
主科目 講義・演習（所属する専攻分野）	4	2	2		
演習・実習（所属する専攻分野）	8	4	4		
副科目1 講義・演習（他の専攻分野）	2	2			
副科目2 講義・演習（他の専攻分野）	2		2		
計	30				

(3) 共通コア科目について

11頁「⑦共通コア科目に関する説明」及びホームページ掲載のシラバスを参照の上履修してください。

(4) 主科目（所属する専攻分野の「講義・演習」「演習・実習」）について

主科目は所属する専攻分野の「講義・演習」4単位、「演習・実習」8単位を履修する必要があります。授業科目・担当教員等は、15頁「①専門科目一覧」及びホームページ掲載のシラバスを参照の上履修してください。

(5) 副科目（他の専攻分野の「講義・演習」）について

他の専攻分野の「講義・演習」4単位を履修する場合、担当教授の許可を得て「履修計画表」を提出してください。授業科目・担当教員等は、15頁「①専門科目一覧」及びホームページ掲載のシラバスを参照してください。

(6) 選択科目プログラムの履修について

本研究科では平成20年度より選択プログラムを開設しました。主科目の「講義・演習」又は副科目の「講義・演習」に充てることが可能です。14頁「⑧選択プログラムに関する説明」及びホームページ掲載のシラバスを参照の上履修してください。

③臨床専門医養成コース（歯学系）

【コース概要】

平成19年度設置の「臨床専門医コース」は、高度な専門的臨床能力の習得及び臨床研究を理解し実践できる能力を取得することを目的としたコースです。全人的な視野を持った患者診療ならびに国際的視野を持った臨床研究の取得も目指し、近年の専門医制度と同調し、専門医資格取得のための準備期間としても役立つコースです。

具体的には、別途実施するEBMセミナーをコアとするとともに、専門科目として専門医取得に連動した専門科目を履修します。また、副科目として下記の「選択科目プログラム」を履修することにより広範な学際性も身に付けます。

このコースには次の専攻分野が参加しています。

歯科保存修復学、歯周病態学、インプラント再生補綴学、咬合・有床義歯補綴学、歯科矯正学、顎口腔再建外科学、口腔顎顔面外科学、歯科放射線学、予防歯科学、小児歯科学、
歯科麻酔・特別支援歯学

(1) 履修計画

履修計画表作成及び授業科目の履修にあたっては、所属する専攻分野の指導教授の指導を受け、指定する期日までに、「履修計画表」（ファイル巻末に綴じ込みの様式）を担当係まで提出してください。

(2) 履修方法

修了するために必要な授業科目の合計単位数は、30単位です。

共通コア科目及び専門科目として、所属する専攻分野の「講義・演習・実習」を履修してください。

	単位数	年次ごとの単位修得（例）			
		1	2	3	4
共通コア科目					
研究方法論基礎	2	-----	→ 2		
研究方法論応用	2	-----	→ 2		
課題研究	6	-----	-----	→ 6	
専門科目					
主科目1 講義・演習・実習	10	5	5		
主科目2 講義・演習・実習	10	5	5		
副科目 講義・演習	(2)		(2)		
計	30				

(3) 共通コア科目について

11頁「⑦共通コア科目に関する説明」及びホームページ掲載のシラバスを参照の上履修してください。

(4) 主科目（所属する専攻分野の「講義・演習・実習」）について

主科目は所属する専攻分野の「講義・演習・実習」を履修する必要があります。授業科目・担当教員等は、16頁「②専門科目一覧（臨床医専門養成コース（歯学系）」及びホームページ掲載のシラバスを参照の上履修してください。

(5) 選択科目プログラムの履修について

本研究科では平成20年度より選択プログラムを開設しました。副科目の「講義・演習」に充てることが可能です。14頁「⑧選択プログラムに関する説明」及びホームページ掲載のシラバスを参照の上履修してください。

④がんプロフェッショナルコース（臨床腫瘍学教育課程）

【コース概要】

平成20年度設置の「がんプロフェッショナルコース」は、がんの特化した臨床研究方法の理解と実践、トランスレーショナルリサーチの実践ができる人材の育成をおこない、地域でのがん均てん化に役立てることを目的としたコースです。

具体的には、メディカル、コメディカル共通のカリキュラムの履修や、多職種によるチーム医療等を実施します。

このコースには、下記のコースを設置しています。

薬物療法専門医養成コース、放射線治療専門医養成コース、腫瘍外科専門医養成コース

(1) 履修計画

履修計画表作成及び授業科目の履修にあたっては、所属する専攻分野の指導教授の指導を受け、指定する期日までに、「履修計画表」（ファイル巻末に綴じ込みの様式）を担当係まで提出してください。

なお、本コースについては、履修する授業科目は、「中国・四国がんプロコンソーシアム」により定められています。

(2) 履修方法

修了するために必要な授業科目の合計単位数は、30単位です。

詳細は、次の通りです。

	単位数	年次ごとの単位修得（例）			
		1	2	3	4
共通コア科目					
研究方法論基礎	5				-----→ 5
研究方法論応用 (疫学・医療統計学・臨床研究疫学実践論)	6				6
その他のコア科目 (悪性腫瘍の管理と治療、医療倫理と法律的・経済的問題、医療対話学、がんチーム医療実習・医療情報学)	3				-----→ 3
がん専門医共通科目 (がんのベーシックサイエンス・臨床薬理学、臨床検査・病理診断・放射線診断学、臓器別がん治療各論、がん緩和治療)	4				-----→ 4
臨床腫瘍医専門科目					
臨床腫瘍学実習	8	4	4		
専門研究	4				-----→ 4
計	30				

(3) 共通コア科目について

11頁「⑦共通コア科目に関する説明」及びホームページ掲載のシラバスを参照の上履修してください。

(4) 共通コア科目（その他のコア科目）について
平成20年度開講のため、現在鋭意検討中です。

(5) がん専門医共通科目について
平成21年度開講の予定です。

(6) 臨床腫瘍医専門科目について
臨床腫瘍医専門科目は、コースごとに設定されたものを履修する必要があります。コース担当
教員及びホームページ掲載のシラバスを参照の上履修してください。
「専門研究」は、共通コア科目の「課題研究」と同様の取り扱いです。11頁「⑦共通コア科目
に関する説明」及びホームページを参照の上履修してください。

⑥国際臨床研究コース

【コース概要】

平成20年度設置の「国際臨床研究コース」は、所属する専攻分野を超えた大学院生でユニットを組み、共同研究（ユニット研究）を行うコースです。また、より高い専門性と国際感覚を備えるため、海外の研究機関との共同研究・研究交流など国際的な臨床研究を行うとともに「実践英語教育」において使える英語を学びます。また、疫学分野については、4年間で国際的に通用する知識とスキルの習得が可能です。

(1) 履修計画

履修計画表作成及び授業科目の履修にあたっては、所属する専攻分野の指導教授の指導を受け、指定する期日までに、「履修計画表」（ファイル巻末に綴じ込みの様式）を担当係まで提出してください。

(2) 履修方法

修了するために必要な授業科目の合計単位数は、30単位です。

指導教授の指導により、共通コア科目及び専門科目として所属する専攻分野の「講義・演習」4単位、「演習・実習」8単位及び「実践英語教育」4単位を履修してください。

	単位数	年次ごとの単位修得（例）			
		1	2	3	4
共通コア科目					
研究方法論基礎	3	-----→	3		
研究方法論応用 (疫学・医療統計学・臨床研究論)	6	-----→	6		
課題研究	5	-----→		5	
専門科目					
国際臨床研究学（講義・演習） (所属する専攻分野)	4	2	2		
国際臨床研究学（演習・実習） (所属する専攻分野)	8	4	4		
実践英語教育	4	2	2		
計	30				

(3) 共通コア科目について

11頁「⑦共通コア科目に関する説明」及びホームページ掲載のシラバスを参照の上履修してください。

(4) 専門科目（所属する専攻分野の「講義・演習」「演習・実習」）について

専門科目は所属する専攻分野の「講義・演習」4単位、「演習・実習」8単位を履修する必要があります。授業科目・担当教員等は、15頁「①専門科目一覧」及びホームページ掲載のシラバスを参照の上履修してください。

(5) 専門科目（「実践英語教育」）について

ホームページ掲載のシラバス等を参照の上履修してください。

⑦共通コア科目に関する説明

(1)「研究方法論基礎」及び「研究方法論応用」について

4月から9月までに開講する「研究方法論基礎・応用」を以下の題目数を選択受講しなければなりません。1年次に必要題目数を受講することが望ましいのですが、1年次に履修できなかった題目数は2年次以降に受講してください。

	一般コース	臨床専門医コース (医学系) 高齢者・在宅・緩和医療コース 国際臨床研究コース	がん [®] プロフェッショナルコース	臨床専門医養成 コース(歯学系)
研究方法論 基礎	25題目以上 (5単位)	15題目以上 (3単位)	25題目以上 (5単位)	10題目以上 (2単位)
研究方法論 応用	20題目以上 (4単位)	「疫学・医療統計 学・臨床研究疫学実 践論」を履修 ※(2)を参照	「疫学・医療統計 学・臨床研究疫学実 践論」を履修 ※(2)を参照	10題目以上 (2単位)

講義日程・シラバスは、ホームページに掲載してありますので、必ず確認のうえ授業に出席するようにしてください。休講・講義室変更等の情報も掲載されます。

ホームページアドレス(事務室からのお知らせ:博士課程大学院生用)

<http://www.hsc.okayama-u.ac.jp/mdps/menu03/index02.HTM>

☆単位の認定方法

毎回授業中に提示される質問事項に解答し、「出席及び評価票」(ファイル巻末に綴じ込みの様式)を授業終了時に必ず授業担当教員に提出してください。学生番号、氏名の記入漏れのないよう注意してください。提出された「出席及び評価票」をもとに出席回数を確認し、単位を認定します。なお、11月末に、出席回数の集計をしますので、研究方法論の授業に出席した場合は、「出席記録欄」に印を付け、各自出席回数を把握しておいてください。

☆「研究方法論」の授業とみなす学内外で開催の講演会等について

「研究方法論基礎」、「研究方法論応用」の授業とみなす学内外で開催される講演会等に出席された場合も、単位認定の出席回数の対象となりますので、出席の際に、「出席記録」(ファイル巻末に綴じ込みの様式)に開催者認印をもらってください。「研究方法論基礎」、「研究方法論応用」について、それぞれ必要題目数のうち5回まで認定可能です。

- 対象となる学内開催講演会の開催日程等については、開講が決定しましたら、その都度全教室あて文書でお知らせします。
- 学外開催講演会については、指導教授が認めたもののみが対象となります。出席の後、「出席記録」(ファイル巻末に綴じ込みの様式)に開催者認印欄に指導教授の認印をもらってください。
- 岡山医学会の特別講演会及び同医学賞受賞者の講演会を、「研究方法論基礎」の講義として認定

しています。参加する場合は、「出席及び評価票」を持参し、受付で認印をもらい、「出席及び評価票」に感想を記入の上、1週間以内に「16事務担当係」へ提出してください。
日程等の詳細が決まりましたら、ホームページでお知らせします。

☆創薬生命科学専攻（薬学系）の研究方法論について

医歯薬学総合研究科博士後期課程創薬生命科学専攻（薬学系）が開講する研究方法論も受講することができます。日程の詳細や講義題目はホームページに掲載していますので、希望のある方は確認して出席してください。

出席した場合は、「出席及び評価票」に授業中に提示された質問事項に解答し、授業終了時に必ず授業担当教員に提出してください。

(2) 「研究方法論応用（疫学・医療統計学・臨床研究疫学実践論）」について

下記のコースを履修した学生については、研究方法論応用として、4月から7月までに開講する「疫学」・「医療統計学」・「臨床研究論・疫学実践論」を受講しなければなりません。

講義日程・シラバスは、ホームページに掲載してありますので、必ず確認のうえ授業に出席するようにしてください。

臨床専門医コース（医学系）

がんプロフェSSIONALコース

高齢者・在宅・緩和医療プロフェSSIONALコース

国際臨床研究コース

(3) 「課題研究」及び「専門研究（がんプロフェSSIONALコース）」について

博士課程の学生が研究の成果を発表する「課題研究セミナー」を夏季と秋季に開催しています。博士課程1年次、2年次の学生もこの課題研究セミナーに参加することが必要とされています。下記のとおり出席し、内1回発表することにより「課題研究」または「専門研究」の単位が認定されます。

	一般コース 臨床専門医コース（医学系） 高齢者・在宅・緩和医療コース 国際臨床研究コース	臨床専門医養成コース（歯学系）	がんプロフェSSIONALコース
出席	通算6回以上出席（5単位）	通算6回以上出席（6単位）	通算4回以上出席（4単位）
発表	内1回発表 【医学系】大学院修了（学位申請時）までに1回発表 【歯学系】4年次に1回発表	内2回発表 1回は1～2年次にEBDセミナー形式で実施。 2回目は3～4年次での研究発表とする。なお研究発表は従来の課題研究セミナーで発表しても良い。	内1回発表

○課題研究セミナーの日程及び発表登録方法等はホームページでお知らせしますので、各自確認してください。

- 1年次から3年次までの3年間毎年出席することが望ましいのですが、やむをえず出席できない年があっても、大学院修了までに必要回数出席すれば構いません。
- 歯学系の場合：年2回以上（1回は指導教授が所属する大講座，1回は研究に関連する他の大講座のセミナー）に出席してください。大学院修了までに1回は発表者となり（4年生の時に発表してください。）通算6回以上の出席が必要です。

（4）授業出席回数集計結果のお知らせ方法について

研究方法論基礎，研究方法論応用及び課題研究セミナーの授業出席回数集計結果についてはホームページにてお知らせします。以下の時期になりましたら，必ず各自ホームページで確認してください。

「研究方法論基礎」・「研究方法論応用」の出席回数

第1回掲載予定日 平成20年11月末

第2回掲載予定日 平成21年4月末

課題研究セミナーの出席回数

第1回掲載予定日 平成20年9月末（平成20年度夏季セミナーまで集計）

第2回掲載予定日 平成20年11月末（平成20年度秋季セミナーまで集計）

⑧選択プログラムに関する説明

本研究科では、現代の医療に関する課題に対応するとともに社会のニーズに対応するため、下記の選択科目プログラムを設置しました。これらのプログラムは、下記の「対象となるコース」を履修した学生について選択履修可能です。

○プログラム名

脳卒中プログラム（授業科目名：脳卒中特論， 2単位）

心筋梗塞プログラム（授業科目名：心筋梗塞特論， 2単位）

メタボリックプログラム（授業科目名：メタボリックシンドローム特論， 2単位）

アンチエイジング医学系プログラム（授業科目名：アンチエイジング特論（医学系）， 2単位）

アンチエイジング歯学系プログラム（授業科目名：アンチエイジング特論（歯学系）， 2単位）

○対象となるコース

一般コース

臨床専門医コース（医学系）

臨床専門医養成コース（歯学系）

○履修方法

「選択科目プログラム」は上記のコースの学生の「主科目（講義・演習）」、「副科目1」，「副科目2」または「副科目」として履修することができます。

2. 授業科目・カリキュラム

① 専門科目一覧（一般コース・臨床専門医コース（医学系）・国際臨床研究コース）

専攻	授業科目名	担当教授	講義・演習	演習・実習
生体制御科学専攻	細胞組織学	佐々木順造	2単位	4単位
	人体構成学	大塚 愛二	2単位	4単位
	システム生理学	成瀬 恵治	2単位	4単位
	分子医化学	二宮 善文	2単位	4単位
	遺伝情報動態学	筒井 研	2単位	4単位
	循環器内科学	(選考中)	2単位	4単位
	心臓血管外科学	佐野 俊二	2単位	4単位
	麻酔・蘇生学	森田 潔	2単位	4単位
	救急医学	氏家 良人	2単位	4単位
	薬理学	西堀 正洋	2単位	4単位
	臨床薬理学	(選考中)	2単位	4単位
	歯科薬理学	北山 滋雄	2単位	4単位
	衛生代謝制御学	成松 鎮雄	2単位	4単位
	薬品物性学	勝 孝	2単位	4単位
	薬効解析学	亀井 千晃	2単位	4単位
	神経ゲノム学	筒井 公子	2単位	4単位
	細胞生理学	松井 秀樹	2単位	4単位
	生化学	竹居 孝二	2単位	4単位
	神経情報学	(選考中)	2単位	4単位
	精神神経病態学	黒田 重利	2単位	4単位
	脳神経内科学	阿部 康二	2単位	4単位
	発達神経病態学	大塚 頌子	2単位	4単位
	脳神経外科学	伊達 勲	2単位	4単位
病態制御科学専攻	病理学(免疫病理)	松川 昭博	2単位	4単位
	細胞化学	保田 立二	2単位	4単位
	消化器・肝臓内科学	山本 和秀	2単位	4単位
	腎・免疫・内分泌代謝内科学	横野 博史	2単位	4単位
	小児医科学	森島 恒雄	2単位	4単位
	皮膚科学	岩月 啓氏	2単位	4単位
	泌尿器病態学	公文 裕巳	2単位	4単位
	産科・婦人科学	平松 祐司	2単位	4単位
	口腔病理学	(選考中)	2単位	4単位
	歯周病態学	高柴 正悟	2単位	4単位
	病理学(腫瘍病理)	吉野 正	2単位	4単位
	免疫学	中山 睿一	2単位	4単位
	腫瘍ウイルス学	加藤 宣之	2単位	4単位
	分子遺伝学	清水 憲二	2単位	4単位
	腫瘍・胸部外科学	(選考中)	2単位	4単位
	血液・腫瘍・呼吸器内科学	谷本 光音	2単位	4単位
	放射線医学	金澤 右	2単位	4単位
	消化器・腫瘍外科学	田中 紀章	2単位	4単位
	口腔顎顔面外科学	佐々木 朗	2単位	4単位
	歯科放射線学	浅海 淳一	2単位	4単位

専攻	授業科目名	担当教授	講義・演習	演習・実習
機能再生・再建科学専攻	細胞生物学	許 南浩	2単位	4単位
	耳鼻咽喉・頭頸部外科学	西崎 和則	2単位	4単位
	眼科学	大月 洋	2単位	4単位
	整形外科	尾崎 敏文	2単位	4単位
	形成再建外科学	木股 敬裕	2単位	4単位
	口腔生化学	滝川 正春	2単位	4単位
	口腔形態学	山本 敏男	2単位	4単位
	生体材料学	鈴木 一臣	2単位	4単位
	歯科保存修復学	吉山 昌宏	2単位	4単位
	口腔機能解剖学	杉本 朋貞	2単位	4単位
	口腔生理学	松尾 龍二	2単位	4単位
	インプラント再生補綴学	窪木 拓男	2単位	4単位
	歯科矯正学	山城 隆	2単位	4単位
	顎口腔再建外科学	(選考中)	2単位	4単位
	咬合・有床義歯補綴学	皆木 省吾	2単位	4単位
	歯科麻酔・特別支援歯学	宮脇 卓也	2単位	4単位
社会環境生命科学専攻	病原細菌学	小熊 恵二	2単位	4単位
	病原ウイルス学	山田 雅夫	2単位	4単位
	口腔微生物学	(選考中)	2単位	4単位
	小児歯科学	下野 勉	2単位	4単位
	医薬基盤化学	綿矢 有佑	2単位	4単位
	衛生微生物化学	三好 伸一	2単位	4単位
	遺伝子機能化学	岡本敬の介	2単位	4単位
	生命倫理学	栗屋 剛	2単位	4単位
	疫学・衛生学	土居 弘幸	2単位	4単位
	医療政策・管理学	(浜田 淳)	2単位	4単位
	公衆衛生学	荻野 景規	2単位	4単位
	法医学	宮石 智	2単位	4単位
	医療情報学	太田 吉夫	2単位	4単位
	総合内科学	小出 典男	2単位	4単位
老年医学	(選考中)	2単位	4単位	
総合歯科学	鳥井 康弘	2単位	4単位	
予防歯科学	森田 学	2単位	4単位	

②専門科目一覧（臨床専門医養成コース（歯学系））

学生の所属する専攻分野	専門医	「専門科目」
歯科保存修復学	歯の保存治療専門医 接着歯学認定医	接着歯学臨床応用学 審美歯学臨床応用学
歯周病態学	歯の保存治療専門医 歯周病専門医	口腔感染・炎症制御学 歯周病治療専門学 歯髄・歯内病変治療専門学
インプラント再生補綴学	補綴歯科専門医 日本顎関節学会認定医 日本口腔インプラント学会認定医 口腔リハビリテーション認定医	高度補綴治療学 顎関節症・口腔顔面痛治療学 口腔インプラント義歯学 口腔リハビリテーション学
咬合・有床義歯補綴学	補綴歯科専門医 日本顎関節学会認定医 日本障害者歯科認定医	高度義歯補綴学 下顎機能異常治療学 顎顔面補綴治療学 高齢者歯科医療学
歯科矯正学	矯正歯科専門医	小児矯正学 成人矯正学
顎口腔再建外科学	口腔外科専門医	口腔・顎・顔面外科手術学 口腔内科学および口腔・顎・顔面インプラント治療学
口腔顎顔面外科学	口腔外科専門医	口腔外科治療学 口腔外科疾患病棟管理学
歯科放射線学	顎口腔放射線専門医 日本口腔診断学会認定医	口腔診断学 歯科医療情報管理学
予防歯科学	予防歯科認定医 地域歯科保健認定医	EBD応用学 臨床予防歯科学 実践地域歯科保健学
小児歯科学	小児歯科専門医	臨床小児歯科学 行動歯科学
歯科麻酔・特別支援歯学	歯科麻酔専門医 日本障害者歯科認定医	歯科全身管理学 口腔顔面痛・ストレス管理学

上記「専門科目」から指導教授との相談のうえ2科目を選択履修する。

③がんプロフェッショナルコース カリキュラム			岡山大学			
科目区分	授業科目の名称／担当教員 職・氏名	授業科目の概要	単位	履修 年次	実施月	授業形態
共通コアカリキュラム (9単位)	研究方法論応用 ・がん疫学論 ・臨床研究論 ・医療統計学	臨床研究を立案実施する基礎学力を養うため、疫学・医療統計学・臨床研究論・研究倫理を必須科目として履修し、臨床第Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ相試験のデザイン、プロトコルの立案、作成について修得する。	6	1	土曜日集中 4月～7月	対面授業
	悪性腫瘍の管理と治療 ・検査、診断法概論 ・治療法概論 ・治療合併症、支持療法、緩和治療 ・老年腫瘍学 ・がんの心理社会的側面	・手術療法、放射線療法、化学療法、内分泌療法、分子標的治療、遺伝子治療、幹細胞移植と骨髄移植、Oncologic emergency、腫瘍随伴症候群について履修する。 ・感染症やその他の合併症、疼痛・消化器症状・精神神経症状、輸血療法と造血因子、終末期ケアと在宅緩和医療、代替医療について履修する。 ・がんと加齢の問題、患者の評価、高齢者のがんと心理社会的問題について履修する。 ・心理社会的サポート、がんの診断・治療に伴う精神的葛藤、がんへの対処における適応行動と不適応行動、向精神薬の適応、医療従事者自身のストレス対処について履修する。	1	1～2	6月～3月 予定	対面授業
	医療倫理と法律的・経済的問題	インフォームドコンセント取得の法的要件、研究倫理、救命処置と救命処置中止の法的問題、がんの予防と治療の費用対効果、利益相反について履修する。	0.5	1～2	6月～3月 予定	対面授業
	医療対話学（コミュニケーションスキル）	診療過程におけるコミュニケーションスキル、好ましくない情報の告知について、医療チーム（多職種チーム）内でのコミュニケーションスキルについて履修する。	0.5	1	6月～3月 予定	対面授業
	がんチーム医療実習	医師・薬剤師・看護師チームによるがんの緩和ケア、在宅緩和医療について実習を行う。	0.5	1	6月～3月 予定	対面授業
	医療情報学	患者向け情報、医療従事者向け情報、インターネット、がん専門医・臨床試験の検索の方法について履修し、演習を行う。	0.5	1	6月～3月 予定	対面授業
がん専門医共通科目 (4単位)	がんのベーシックサイエンス・臨床薬理学	・がんの生物学と遺伝学、がん免疫、がんの病因・疫学・スクリーニング・予防等の基礎科学について履修する。 ・薬物動態学、薬力学、薬物代謝とクリアランス、pharmacogenomics、抗がん剤の種類と分類、投与量と投与スケジュール、薬剤耐性、効果と毒性の予測について履修する。	1	1～2	未定	対面授業
	がん臨床検査・病理診断・放射線診断学	がん診療と研究に必要な検査と病理学、診断、ステージング、およびフォローアップのための画像診断、腫瘍計測と治療効果判定について履修する。	0.5	1～2	未定	対面授業
	臓器別がん治療各論	・化学療法・放射線療法・手術療法について履修する。 ・脳腫瘍、頭頸部腫瘍、胸部腫瘍、造血器腫瘍、消化器腫瘍、乳腺・内分泌腫瘍、泌尿器科腫瘍、婦人科腫瘍、骨・軟部腫瘍、皮膚腫瘍、原発不明がんの内科・外科・放射線・集学的治療について履修する。	2	1～2	未定	対面授業
	がん緩和治療	がんの支持療法、緩和治療について履修・実習を行う	0.5	1～2	未定	対面授業
臨床腫瘍医専門科目 (12単位)	臨床腫瘍学実習	自身が専門とする臓器の腫瘍に加えて、消化器・呼吸器・乳腺・造血器腫瘍のうち少なくとも2臓器の腫瘍について各3ヶ月間のがん化学療法の臨床経験（ただし腫瘍内科医は造血器腫瘍6ヶ月間を必修とする）、および1ヶ月間の放射線治療のローテーションとキャンサーボードへの参加を通じたチーム医療の実践を行う。	8	1～2	通年	対面授業
	専門研究	がん化学療法に関する研究テーマ（基礎研究あるいは臨床研究）を指導教官とともに設定し、研究論文としてまとめる。	4	1～3	通年	対面授業
選択科目（5単位）	研究方法論基礎		5	1～3	4月～7月	対面授業